

地域おこしのプロフェッショナル 仕事の流儀

vol.8 上士幌町 平野 健太郎 さん



~PROFILE~

上士幌町 平野 健太郎 さん

出身：上士幌町

前職：自動車部品製造業

趣味：車、バイク、旅行

1 地域おこし協力隊になったきっかけは？

大学を出てから愛知県で自動車関係の仕事に携わり、その後、北海道苫小牧市に戻ってきてからも同種の仕事に就いていたのですが、仕事をしているうちに、**もう少し北海道を直接より良くするような仕事に就きたいと考えるようになりました。**北海道の主要産業である観光業で何かできないかというところで、ちょうど生まれ育った上士幌町で、観光誘致の組織作りといった内容の地域おこし協力隊を募集していたので申し込みました。

2 日々の活動内容や活動を通じて感じていることを教えてください。

今は株式会社 karch（カーチ）に町からの派遣というかたちで勤務しています。

株式会社 karch は地域観光商社として地域課題解決型の業務を行っています。具体的には道の駅かみしほろとナイトイテラスの運営、旅行業、各種イベントの実施、少し毛色が違いますがかみしほろ電力での電気の小売事業など、多岐に渡る事業を行っています。

私は、この会社で、観光庁による DMO（観光地域づくり法人）の「登録 DMO」への登録を目指して組織作りに携わっています。とはいえ、自分が着任し



▲2020年6月にオープンした「道の駅かみしほろ。」
イチオシは十勝ハーブ牛を使ったUC（ウーシー）丼。

てから1か月で道の駅かみしほろがオープンし、ハイシーズンを迎えたので、なかなか夏場は組織づくりの活動に時間を割けませんでした。今はハイシーズンが終わって、体制作りに向けてひとつひとつ課題を解決していった状況です。

地域おこし協力隊として一番やっていけないといけないのは、地元との交流だと感じています。**交流を通じて色々と新しいものが生まれますし、よそから来た者だからこそやれることがある**と感じています。

3 今後の展望・目標について教えてください。

前職でも、組織を作っていく、仕組みを作っていくということを主な仕事としていたので、今の DMO の組織作りをしていく仕事は自分にマッチしていると感じています。

協力隊を終えた後でも、**株式会社 karch で仕事を続けていくというのは選択肢のひとつ**なのかなと思っています。今は地域おこし協力隊1年目ということと、株式会社 karch がもうすぐ3年目を迎える若い会社なので、どういう事業をやっていくかに応じてその中でさらにやりたいことが生まれるか、もしかすると自ら事業を起こしてしまったほうが町のためになるのか、その辺は未知数です。

4 上士幌町の魅力について教えてください。

やはりひとつは**自然**でしょうか。四季がはっきりしていて、十勝平野が広がって、山もあって、本当に自然の素材、観光資源が豊かな町だと感じます。国道を外れて一本細い道に入った時に見える自然の風景を楽しんでもらえたらと思います。

ここで育ったというものがありますが、例えば**子どもを育てるときに自然と触れ合いながら子育てができるような場所**ではないのかと思っています。

あとは、**町民が非常に温かい**というか、町の人と関わりながら、助け合いながらやれるところが魅力なんじゃないかと思いますね。



▲日本一広い公共牧場・ナイタイ高原牧場の頂上にある、ナイタイテラスからの眺め。テラスには牧場を見渡せるカフェもあります。